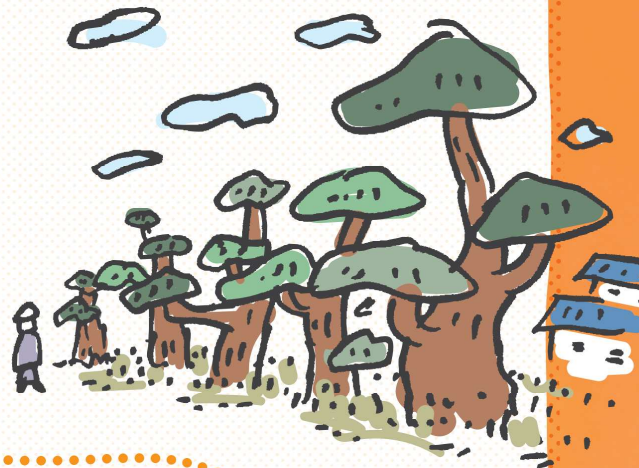




# どうして 佐賀市「松原」と 呼ばれるの？



江戸時代から松などの樹木が生い茂る土手があり、  
これが「松原」と呼ばれていたことが地名の由来です。  
ではどうして、お城に近い「一等地」なのに  
宅地開発されなかったのでしょうか。



江戸時代、他藩の人々は城下の  
武家地内への立ち入りは制限  
されており、往還おうかんや街道筋だ  
けを通行することができました。

松原は、本丸・二の丸の真北に位置して  
いることから、その延長線上の川上往還かわかみおうかん  
や長崎街道から城内が見通せないよう  
にする、目隠しの役割があったとも言わ  
れています。

江戸時代の書物※には龍造寺氏の時  
代について、「城の表門は現在の（江戸  
時代の）倉町鍋島家の門の辺り、裏門は  
松原小路の現在の野口新右衛門らの屋  
敷辺りだった。だから（城の表門と一体  
的な防衛施設である）土手の跡が残っ  
ている」と記されています。

龍造寺氏の時代のお城や城下町の明  
確な範囲は分かっていませんが、その北  
限が松原であり、城下町が広がった江戸  
時代にも、いわば史跡として保存された  
のかもしれません。



※「多久家書類」鍋島報効会所蔵／佐賀県立図書館寄託（鍋島家文庫）

元文佐賀城廻之絵図 元文5年(1740)  
鍋島報効会(徴古館)所蔵